



2025年度(第76期)  
**株主通信**

○ Contents

Top Message .....	1
TOPICS .....	3
連結業績ハイライト .....	5
会社概要／株式の状況 .....	6





## ● TOP MESSAGE

# 中期経営計画「H.U.2030」が始動 グループ一体化経営のさらなる深化を通して 社会課題の解決に貢献します

H.U.グループホールディングス株式会社  
取締役 代表執行役会長 兼 社長 兼 グループCEO

竹内 成和

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2025年度上半期の業績についてご報告させていただくとともに、2025年5月に発表いたしました中期経営計画「H.U.2030」についてご説明させていただきます。

## ● 上半期の状況について

2025年度上半期における経済環境は、引き続き不安定な状況が続いております。H.U.グループ（以下、当社グループ）を取り巻く事業環境におきましても、医療機関の経営状況の悪化や医療費の削減要請に伴う検体検査実施料の抑制等、厳しい事業環境が続いております。

このような環境の中、当社グループといたしましては、これまでの投資の刈り取りフェーズと位置付けた5か年の中期経営計画「H.U.2030」を策定し、一体化経営のさらなる深化等を通して収益性を向上すべく各種施策に取り組んでおります。H.U. Bioness Complexに関しては、完全稼働を開始し、徐々に収益性の改善に寄与しております。NEURO（神経疾患関連）領域においては、血漿中の217位リン酸化タウ蛋白とβ-アミロイド1-42の比率を測定する検査試薬が2025年5月にアルツハイマー病の診断補助を目的とした血液用体外診断用医薬品として初めて米国食品医薬局（FDA）より承認を取得するとともに、本試薬を中心とした製品群が成長しております。また、CDMO（受託開発製造）事業については、2025年6月23日に発表したPlasma Services Group, Inc.の買収等、バイオ原料供給の強化を進めております。

その結果、2025年度上半期の売上高は検査・関連

サービス事業（以下、LTS事業）およびヘルスケア関連サービス事業（以下、HS事業）の増収を中心にすべての事業セグメントで増収となりました。営業利益についても、増収による増益に加えて、LTS事業におけるサービスレベル・販売価格の適正化をはじめとした限界利益の増加策により増益となりました。また、経常利益および親会社株主に帰属する中間純利益についても、主に営業利益の増益により増益となりました。

## ● 通期業績の見通しについて

通期の業績については、各種施策の推進によるさらなる利益成長に加えて、第3四半期に計上を見込む固定資産の譲渡および株式譲渡による特別利益も含めて、2025年9月25日に上方修正した目標の達成を目指してまいります。

## ● 中期経営計画「H.U.2030」について

2025年5月、当社グループは2030年3月までの5か年中期経営計画（以下、本中計）を発表いたしました。本中計策定にあたって、まずは今後の社会構造・事業環境の変化を考慮することに加えて、前中期経営計画での達成状況とそこから明確になった今後取り組むべき課題を整理しました。これらを踏まえ、グループの強みである独自のシナジーをさらに追求していくことが企業の持続的な成長に最重要であるとの考えに至りました。そのため、まずは全従業員が同じ方向を向けるように、「共創・挑戦・イノベーション」をキーワードとした新たなVisionを掲げました。このVisionのもと、本中計での重点施策は以下の3つと位置付けています。

### ① 一体化経営のさらなる深化

コロナ禍においてグループ一体となって社会課題に立ち向かうとともに、新たな価値を創造した経験を前提に、グループ全体が共創と挑戦を継続的に生み出す構造を持ち、それを価値創造のエンジンとして機能させるべく、一体化経営をさらに深化させていきます。一例として、当社のルミパルス®で新たに開発した項目については、試薬の発売と同じタイミングでSRLでも受託を開始することによって、迅速な市場形成および顧客への価値提供を実現し、先行者利益を獲得してまいります。

### ② 高収益体質への変革

これまでの5年間は、LTS事業についてはH.U. Bioness

Complexの立ち上げ、臨床検査薬事業（以下、IVD事業）については将来成長のためのM&A、CDMO事業を中心とした生産設備の増強など、投資フェーズが続いておりました。今後5年間はこれらの事業基盤・資産を活用し収益を生み出していく「投資の刈り取りフェーズ」と位置付けています。主な戦略として、LTS事業においては、H.U. Bioness Complexの機能を最大化させて収益性を高めていくことに加えて、診断・治療に直結する高付加価値検査を中心としてグループの技術を活用した独自項目を導入していくこと等によって、2029年度における営業利益率10%以上を目指します。IVD事業においては、継続的に研究開発に注力してさらなる成長につなげるとともに、NEURO領域やCDMO事業を中心とした海外での成長に注力することで、2029年度には営業利益率25%以上を目指します。

このように、各事業がグループの価値共創を踏まえたうえで、それぞれの強みを活かし、グループ全体で収益性の高い事業構造へと転換させていきます。

### ③ キャピタルアロケーション最適化と資本効率向上

当社グループは、これまでも配当による安定的な株主還元を継続してきたものの、過去5年間は事業によって得たキャッシュの大部分を設備投資に投下してきました。今後の「投資の刈り取りフェーズ」においては、株主のみなさまへの還元をより強化すべく、DOE6%を目指すとともに、新たに累進配当の方針を導入いたしました。併せて、自己株式の取得を「自社への戦略投資」と位置付け、今年度実施した50億円を含めて本中計期間中には合計

200億円以上の自己株式の取得を実施していくことを決定しております。また、さらなる資本効率の向上を実現すべく、HS事業において福祉用具レンタル卸事業を営むケアレックス社株式の80%を譲渡いたしました。

これら各施策の達成を目指すとともに、経営戦略とサステナビリティ課題への対応を一体的に推進してまいります。がん領域での遺伝子検査（がんゲノムプロファイリング）やアルツハイマー病に代表されるNEURO領域での試薬開発など、未来の医療を切り拓くイノベーションに加えて、2029年度までに達成を目指す非財務目標も設定しております。詳細は11月に発行いたしました統合報告書にも掲載しておりますので是非ご覧ください。

今後も株主をはじめとするステークホルダーのみなさまへの責任を果たすとともに、人々の健康と医療の未来に貢献すべく社会的価値の創造を目指した成長を続けてまいりますので、引き続き株主のみなさまにおかれましては、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



統合報告書はこちらから  
ご覧いただけます



[https://www.hugp.com/resources/file/pdf/hugp\\_report\\_2025\\_j\\_HP.pdf](https://www.hugp.com/resources/file/pdf/hugp_report_2025_j_HP.pdf)

# 血液用のアルツハイマー病検査試薬、 米国で初めての承認を取得

## アルツハイマー病検査への 当社グループの貢献

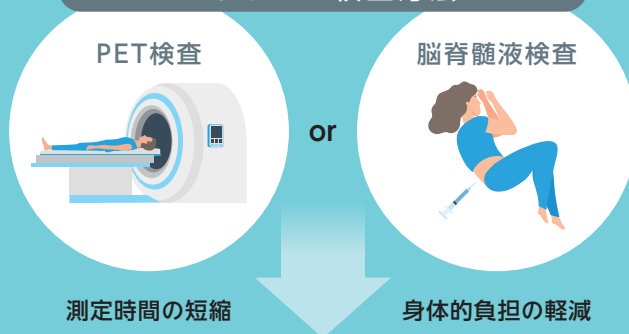
2025年5月16日、当社グループは、血液を用いたアルツハイマー病の診断補助を目的とした体外診断用医薬品として、世界で初めて、FDAより承認を取得いたしました。

アルツハイマー病は、発症前の段階も含めると患者数が極めて多い疾患であり、今後も増加していくことが見込まれておりますが、診断・治療だけでなく、家族などによる対応も含めると、解決すべき課題は多岐にわたり大きな社会課題となっております。昨今は複数の製薬企業によって開発された治療薬が普及しつつありますが、その投与の際には患者の状態を検査する必要があります。この検査の方法として、これまでは拘束時間が長く実施可能な医療機関に限られる画像診断（PET検査）、もしくは検査に使用する検体を採取する際、身体的負担が大きい脳脊髄液検査、この2種類が主流でした。一方、今回、米国で承認を取得した検査試薬は“血液”を対象としており、これら2種類の検査と比べて、測定時間の短縮と身体的負担の軽減が期待される検査方法となります。当社グループはこういった検査の浸透を通して、社会課題の解決に貢献してまいります。また、今後、日本や欧州においても申請、承認取得を進め、さらに適用範囲の拡大を目指します。

## 今回承認を取得した検査方法

これまでの検査と比較して簡便で、  
患者負担の軽減が期待される検査方法です

### これまでの検査方法



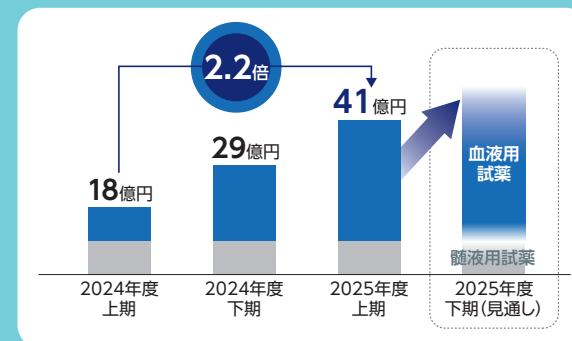
### 今後の検査

#### 血液検査



## 直近の状況と今後の展望

アルツハイマー病を中心とした検査関連の試薬売上はIVD事業におけるNEURO売上に含めています。2025年3月期の売上高は約47億円で、2024年3月期比2.4倍と、高い成長を記録しておりましたが、2026年3月期において、すでに上半期だけで41億円の売上高にまで成長しています。この成長の要因は、今回のFDA承認の追い風もあり、主に血液用試薬の売上成長によるもので、米国を中心として力強い成長が継続しております。今後、確定診断での用途が増えることと、より良い治療薬が開発されることで市場が拡大し、当社グループの成長トレンドが続くことを想定しております。まずはルミパルス®で承認を取得した試薬項目の臨床現場での有用性を示し、次いでCDMO事業を通してグローバルに供給していくことで、成長を加速させていきます。加えて、より早期の診断に寄与できる検査項目のラインアップの拡充や、アルツハイマー病に限らず広く神経疾患に関わる診断薬の開発を継続することで、今後も人々の健康と医療の未来に貢献できる製品・サービスの提供を目指します。



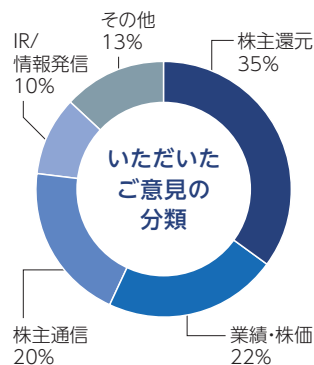


## 第75期 株主通信 アンケートについて

前回の株主通信では、初めて株主のみなさまにアンケートをお願いしました。たくさんのご意見や応援のお言葉をいただき、本当にありがとうございました。ここでは、その結果の一部をご紹介します。

アンケートでは、株主通信へのご感想に加え、「安定した配当」や「自社株買い」など株主還元強化に関するご要望、また、株価向上・業績回復への期待のお声を多くいただきました。また、「会社説明会を開いてほしい」という情報発信に関するご意見も寄せられています。このようなご意見も踏まえ、当社では累進配当方針の導入や自己株式の取得により、株主還元を強化いたしました。また、個人投資家の方に向けた情報発信を積極的に行うべく、今期は2回の個人投資家向け会社説明会を実施いたしました。

今後もさらに業績を向上させ、安定的な株主還元を継続するとともに、引き続き個人投資家向けの情報発信にも取り組んでまいります。また、株主のみなさまとのより良い対話を重ねるため、今回もアンケートを実施しております。ぜひご協力をお願いいたします。



### IRサイトのご案内

株式関連情報、決算説明会などの資料や音声・動画などは当社IRサイト「株主・投資家情報」にてご確認ください。

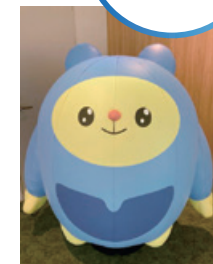
<https://www.hugp.com/ir/>



## INFORMATION

## 施設見学会のご案内

ブランド  
キャラクターが  
株主さまを  
お出迎え



コロナ禍で中止していた個人株主さま向けの施設見学会をH.U. Bioness Complexにおいて、2025年3月8日に実施いたしました。

当日は雪も舞い散る中、56名の株主さまにご参加いただきました。

ご参加いただいた株主さまからは「理解が深まった」「興味がもてた」「楽しかった」等、多数の好意的な感想をいただきました。一方で土曜日に開催したこともあり、「働いている従業員の姿があまり見られなかった」というお声もいただいたため、次回の見学会は平日開催といたしました。

是非、たくさんの方の株主さまからのご応募をお待ちしております。

●ホールで見学概要をご説明



●ウエルカムシアターから見学をスタート



●検体容器の種類と検体搬送ボックスの説明



対 象 者	100株以上保有かつ3年以上継続保有 (2025年9月30日時点)の個人株主さまご本人	参 加 費	無料 (ただし、往復交通費は各自のご負担とさせていただきます)
日 程	①2026年3月5日(木) ②2026年3月6日(金) ①②両日13:00~15:30(予定)	応募方法	応募はがき(対象者のみ同封)に必要な事項をご記入のうえ、ご返送ください。
場 所	H.U. Bioness Complex (東京都あきる野市、JR五日市線武蔵引田駅徒歩2分)	締 切 日	2026年1月7日(水) 必着
内 容	当社グループの事業説明および施設見学	お問い合わせ	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 H.U.グループホールディングス株式会社 個人株主さま向け施設見学会専用窓口 <b>0120-181-121</b> (通話料無料) 受付時間:9:00~17:00(土日祝日等を除く)
募集人数	①②各40名ずつ(合計80名)		

※当選・落選結果は、ご応募いただきましたすべての株主さまに郵送にてお知らせいたします。お送り先は株主名簿ご登録住所となります。(2026年2月上旬発送予定)

## 2025年度中間期 連結業績ハイライト

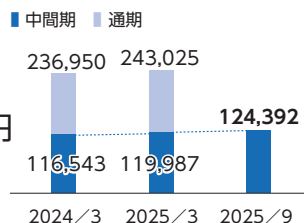
### 損益の状況

(単位：百万円)

売上高

**1,243億92百万円**

前年同期比 **3.7%増**

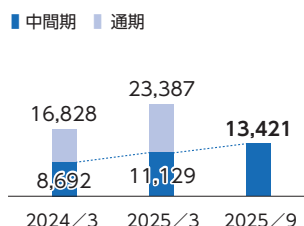


EBITDA

**134億21百万円**

前年同期比 **20.6%増**

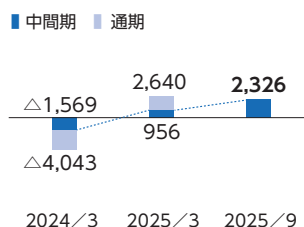
※EBITDA=営業利益+減価償却費  
+のれん償却費



営業利益／損失

**23億26百万円**

前年同期比 **143.2%増**

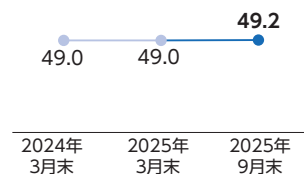


### 自己資本比率

(単位：%)

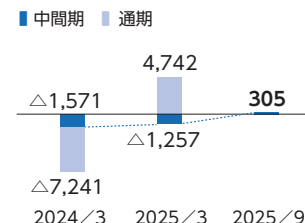
自己資本比率

**49.2%**



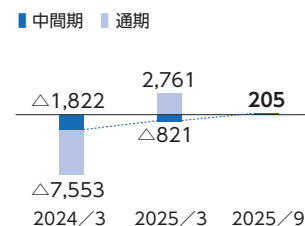
経常利益／損失

**3億5百万円**



親会社株主に帰属する  
中間(当期)純利益／損失

**2億5百万円**



### キャッシュフロー

(単位：百万円)

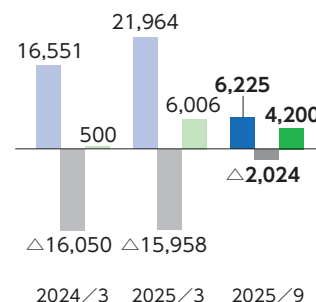
営業キャッシュフロー

**62億25百万円**

営業キャッシュフロー 中間期 通期  
投資キャッシュフロー 中間期 通期  
フリーキャッシュフロー 中間期 通期

フリーキャッシュフロー

**42億0百万円**



### セグメント別情報

(単位：百万円)

検査・関連  
サービス事業

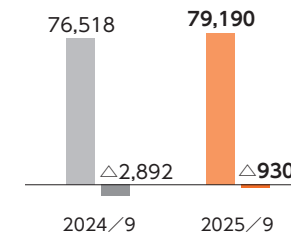
売上高

**791億90百万円**

営業損失

**△9億30百万円**

売上高 営業損失



臨床検査薬  
事業

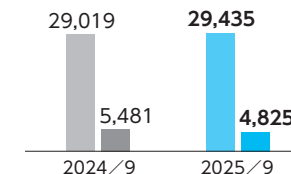
売上高

**294億35百万円**

営業利益

**48億25百万円**

売上高 営業利益



ヘルスケア関連  
サービス事業

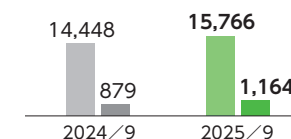
売上高

**157億66百万円**

営業利益

**11億64百万円**

売上高 営業利益



## 会社概要 (2025年9月30日時点)

社 名 H.U.グループホールディングス株式会社  
本 社 所 在 地 〒107-0052  
東京都港区赤坂1-8-1  
赤坂インターシティAIR  
TEL: 03-6279-0801 (代表)

資 本 金 9,287百万円  
経 営 体 制 指名委員会等設置会社  
従 業 員 数 5,475名 (連結)

## 役員一覧

### 取締役



取締役

竹内 成和



取締役

北村 直樹



社外取締役

青山 繁弘



社外取締役

天野 太道



社外取締役

粟井 佐知子



社外取締役

伊藤 良二



社外取締役

白川 もえぎ



社外取締役

宮川 圭治



社外取締役

吉田 仁

### 執行役



代表執行役会長  
兼 社長 兼 グループCEO

竹内 成和



執行役常務 兼 CFO  
HS担当

北村 直樹



執行役常務  
IVD担当

石川 剛生



執行役常務  
LTS担当

松本 誠



執行役 兼 CTO

小見 和也



執行役 兼 CIO

清水 俊彦



執行役  
社長特命担当

長谷川 正



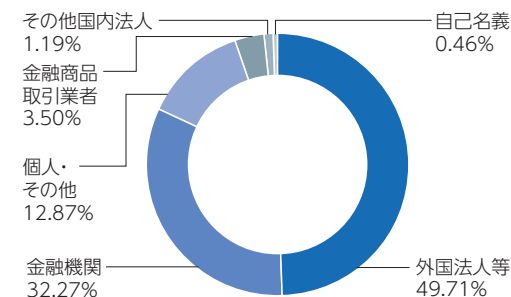
執行役  
人事・総務担当

吉住 陽之

## 株式の状況 (2025年9月30日時点)

発行可能株式総数 200,000,000株  
発行済株式の総数 57,479,022株  
1単元の株式数 100株  
株 主 数 15,452名

### 所有者別株式分布



### 大株主の状況

氏名又は名称	所有株式数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	9,366.2	16.37
株式会社日本カस्टディ銀行(信託口)	3,288.6	5.75
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505001	3,269.3	5.71
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505301	2,312.1	4.04
GIC PRIVATE LIMITED - C	2,104.6	3.68
JP MORGAN CHASE BANK 380684	1,849.2	3.23
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103	1,571.3	2.75
日本生命保険相互会社	1,538.6	2.69
J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 381572	1,298.5	2.27
明治安田生命保険相互会社	1,272.2	2.22

(注) 1. 持株比率は、自己株式263,076株を除いて計算しております。なお、自己株式には信託型株式報酬制度により当該信託が保有する株式392,718株は含まれておりません。  
2. 日本マスタートラスト信託銀行株式会社および株式会社日本カस्टディ銀行の所有株式は、全て信託業務に係るものであります。

## ● グループのMission、Vision

### Healthcare for You

私たちが、大切にすること

それは、豊かな未来をつくる原点となる一人ひとりの健康です  
人々の健康を見つめてきた私たちだからこそ、  
医療の未来に変革を起こすことができる  
そして、ヘルスケアに新たな可能性を生み出すことができる

私たちは、挑み続けます

一人ひとりに最適なヘルスケアを届けることを

止まることなく、これから

Healthcare for You

あなたの健康のために、未来の笑顔のために。

#### Mission

ヘルスケアにおける新しい価値の創造を通じて、  
人々の健康と医療の未来に貢献する

#### Vision

グループが共有する経営資源を最大限活用し、  
共創・挑戦・イノベーションを通じて  
世界の社会課題を解決する

### ■ 社名について



社名の「H.U.」は、「Healthcare for You」を表した  
ものです。これまでの臨床検査を中心に医療を支え  
続けてきた存在から一歩踏み出し、一人ひとりと向き  
合い、全ての人に最適なヘルスケアを届けたいという  
想いを込めました。

## ● 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の 配当基準日	3月31日 (中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
<連絡先>	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 TEL: 0120-232-711 (通話料無料) 平日9:00-17:00 オペレーター対応
<郵送先>	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
公告方法	電子公告 ( <a href="https://www.hugp.com/">https://www.hugp.com/</a> ) ただし、やむを得ない事由によって、電子公 告による公告をすることができない場合には、 日本経済新聞に掲載して行います。

### 株式に関する手続き等について

お問い合わせ内容	証券会社にて 株式をお持ちの場合	特別口座*の場合
住所変更		三菱UFJ信託銀行 証券代行部に お問い合わせください。 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)
単元未満株式の 買取・買増請求	お取引のある 証券会社 お問い合わせください。	
配当金受取方法の 変更		
未受領の配当金の 受取方法	三菱UFJ信託銀行 証券代行部にお問い合わせください。 TEL: 0120-232-711 (通話料無料)	

\*株券電子化前に「[ほふり] (株式会社証券保管振替機構) に預託されていなかった株主さまの株式は、当社が株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行に「特別口座」を開設して記録、管理しております。

株主のみなさまの  
声をお聞かせください

コエキク

当社では、株主のみなさまの声をお聞かせいただくため、  
アンケートを実施いたします。  
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、  
アクセスキー入力後に表示される  
アンケートサイトにてご回答ください。

<https://koekiku.jp>

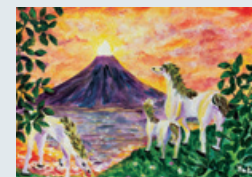
アクセスキー 4544Tyjn



ご回答いただいた方の中から  
抽選で薄謝を進呈させていただきます。

本アンケートは、株式会社プロネクスの提供する  
「コエキク」サービスにより実施いたします。  
アンケートのお問い合わせ「コエキク事務局」  
✉ [koekiku@pronexus.co.jp](mailto:koekiku@pronexus.co.jp)

### 【表紙の作品について】



表紙の絵は、  
工房はんど Yukiさん作  
「初日の出を見る」  
(パラインアート作品)  
です。



※「パラインアート」とは、障がい者の社会的参加と経済  
的自立を彼らの芸術的表現を通じて支援する、一般  
社団法人障がい者目立推進機構による活動です。  
H.U.グループは「パラインアート」を支援しております。

H.U.グループホールディングス株式会社

〒107-0052 東京都港区赤坂1-8-1 赤坂インターシティAIR

